

77R&C

調査月報

2023.

6

■宮城県経済の動き	-----	1
■主要経済指標	-----	12
■経済日誌	-----	16

七十七リサーチ&コンサルティング株式会社

宮城県経済の動き

最近の県内景況をみると、一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。

概 況

生産は弱含みの動きとなっている。需要面の動きをみると、公共投資は弱めの動きとなっている。住宅投資は持ち直しの動きが鈍化している。個人消費は総じて緩やかに持ち直している。雇用情勢は全体としては持ち直しているものの、一部で人手不足による影響が強まっている。

(参考) 県内景況判断の推移

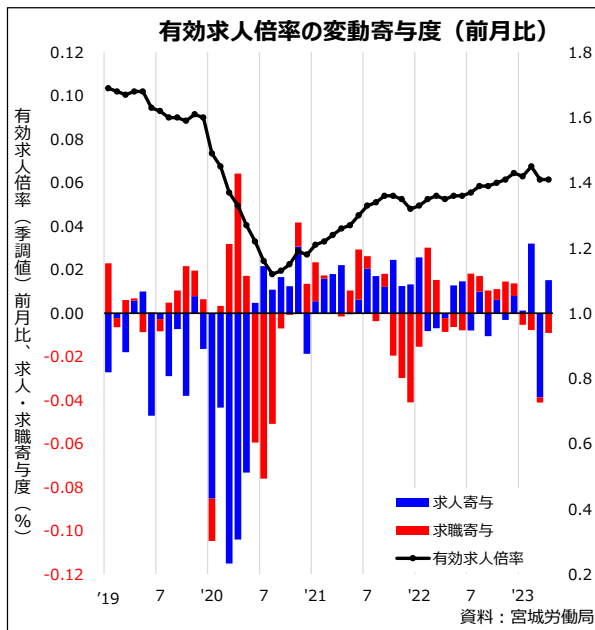
	2023年4月	5月	6月
総 括 判 断	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)
生 産	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている
公共投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
住宅投資	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している
個人消費	一部に弱めの動きがあるものの、総じて緩やかに持ち直している	総じて緩やかに持ち直している	総じて緩やかに持ち直している
雇用情勢	バラツキがあるものの、全体としては持ち直している	全体としては持ち直しているものの、一部で人手不足による影響が強まっている	全体としては持ち直しているものの、一部で人手不足による影響が強まっている

	2022年7～9月	10～12月	2023年1～3月
企 業 況 の 感	持ち直しの動きに足踏みがみられる	一部に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかに持ち直している

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

今月のポイント

賃上げ機運や政府のエネルギー価格の激変緩和措置、5月にはCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）の5類感染症移行などもあり個人消費を中心に経済活動の水準は回復を続けており、企業心理も概ね改善傾向ですが、一方では人手不足が新たな足かせとなりつつあります。コロナ禍での行動制限・自粛で大幅な需要減に見舞われた観光関連（宿泊・飲食）や長時間労働是正の猶予期限（「2024年問題」）の迫る建設や運輸、福祉・介護関連などでは従前からの課題であった人手不足の問題が再燃しています。大型連休では観光業の一部で機会損失がみられており、今後は需要サイドと同様に供給サイドによる下押しにも注意が必要です。



宮城県内 求人・求職バランスの状況

（倍、人）

	有効求人倍率		有効求職者数-有効求人数	
	'23.4	'19.4	'23.4	'19.4
産業計	1.20	1.39	-7,341	-14,149
飲食物調理	2.53	2.89	-1,533	-1,991
接客・給仕	3.48	3.78	-1,639	-1,856
建設・採掘	4.86	4.56	-2,201	-2,728
輸送・機械運転	1.94	2.55	-1,114	-2,014
一般事務	0.35	0.30	6,849	6,913
福祉関連計	2.86	3.03	-4,303	-4,884
介護関連計	3.27	3.53	-3,247	-3,600

注.原数値

資料：宮城労働局

（全国、東北経済の基調判断）＜要約＞

	月例経済報告（全国）	経済の動き（東北）
景気全体	緩やかに回復している（㊦） (5月25日)	一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している (5月24日)
個人消費	持ち直している（㊦）	緩やかに回復している（㊦）
設備投資	持ち直している	増加している
住宅投資	底堅い動きとなっている	弱い動きとなっている
公共投資	底堅く推移している	国土強靱化関連工事や災害復旧工事から、下げ止まっている
生産	持ち直しの兆しがみられる（㊦）	持ち直しの動きが足踏みしている
雇用	持ち直している	改善している

注）下線部は上方修正（㊦）または下方修正（㊧）

（出所：内閣府、日銀仙台支店）

77B I

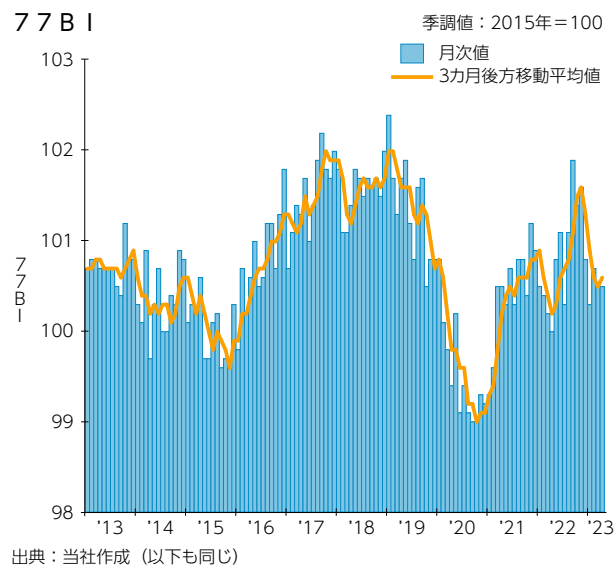
77B I (暫定値)は、横ばい圏内の動きとなっている。

4月の77B I (暫定値)は、前月比横ばいの100.5となった。

採用指標別にみると、前月と比べ建築物着工床面積は上昇し、有効求人倍率は横ばいとなったが、宮城県消費動向指数は低下した。また、3月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.1ポイント上昇の100.6となった。

77B I



77B I

(季節調整値、2015年=100)

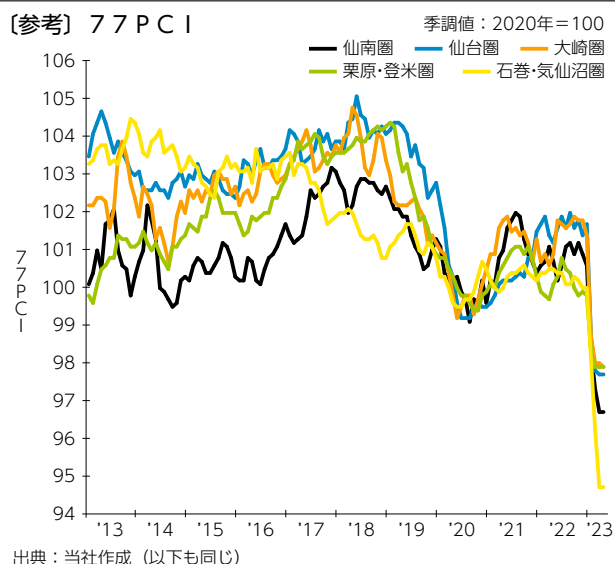
	2023年2月	3月	4月
B I 値	100.7	100.5	100.5
鉱工業生産指数	101.0	102.1	102.1
宮城県消費動向指数	105.2	106.6	101.8
建築物着工床面積	116.8	42.6	124.9
有効求人倍率	108.5	105.5	105.5

【参考】77P C I (広域圏別景気指数)

(季節調整値、2020年=100、前月比：%ポイント)

	2023年2月	3月	4月
仙南圏	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 0.1
仙台圏	▲ 0.9	▲ 0.1	0.01
大崎圏	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 0.1
栗原・登米圏	▲ 0.4	0.01	▲ 0.02
石巻・気仙沼圏	▲ 1.8	▲ 1.5	▲ 0.01

【参考】77P C I



生産動向

鉱工業生産指数は、弱含みの動きとなっている。

3月の鉱工業生産指数は、前月比1.1%上昇の102.1となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比プラスとなったことなどから、前月に引続き前月を上回っている。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比3.0%の低下となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

鉱工業生産指数



鉱工業生産指数

(2015年=100、季節調整済、前年比：%)

	2023年1月	2月	3月
宮城県	95.3	101.0	102.1
(前年比)	▲ 9.5	2.2	▲ 3.0
東北	100.2	99.9	101.3
(前年比)	▲ 0.6	4.1	2.8
全国	90.7	94.9	95.9
(前年比)	▲ 3.1	▲ 0.5	▲ 0.6

振れの大きな汎用・生産用・業務用機械(寄与度3.3%)を除くとマイナス、電子部品・デバイスの指数(65.9)が現行基準(2013年以降)で最も低くなるなど世界的な半導体需要低迷の影響がみられます。

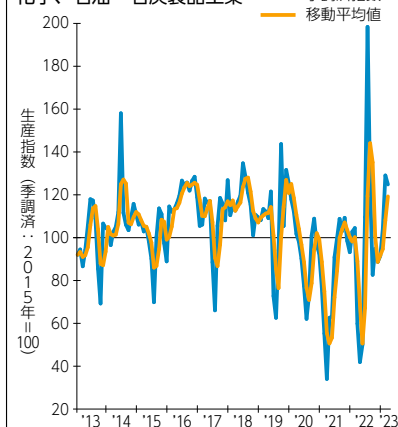


主要業種別生産動向(宮城県)

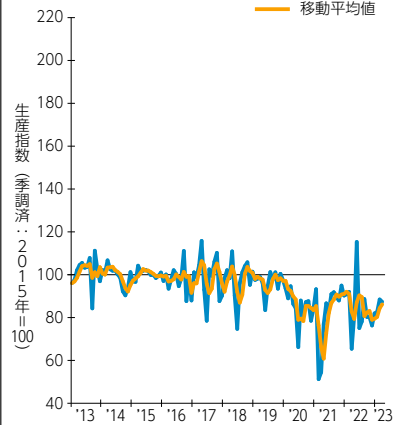
(2015年=100、季節調整済、前年比：%)

業 種	2023年1月	2月	3月
化学、石油・石炭製品工業	104.0	129.1	124.9
(前年比)	1.9	16.1	2.1倍
パルプ・紙・紙加工品工業	82.5	88.4	87.3
(前年比)	▲ 5.6	▲ 12.3	33.8
窯業・土石製品工業	88.5	92.7	93.9
(前年比)	▲ 11.7	1.7	▲ 0.9
電子部品・デバイス工業	68.7	70.5	65.9
(前年比)	▲ 20.5	▲ 16.2	▲ 9.1
汎用・生産用・業務用機械工業	115.2	153.2	190.2
(前年比)	▲ 50.9	▲ 7.1	▲ 35.8
輸送機械工業	113.6	126.7	119.9
(前年比)	2.0倍	80.9	52.8
食料品工業	116.3	117.7	112.4
(前年比)	0.0	0.2	▲ 2.0

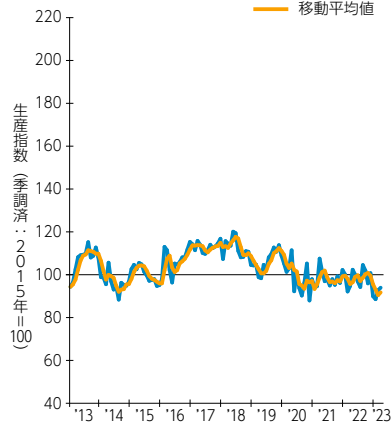
化学、石油・石炭製品工業



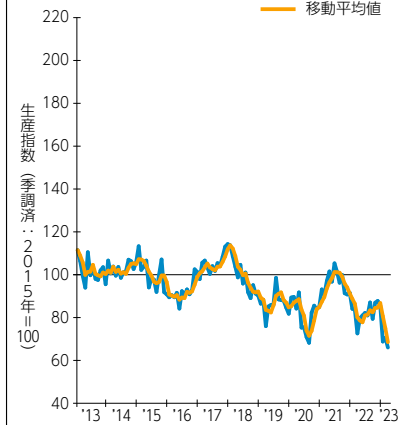
パルプ・紙・紙加工品工業



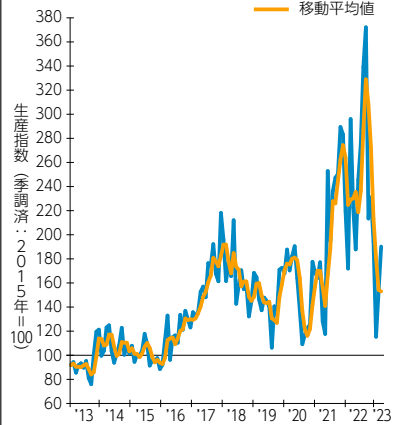
窯業・土石製品工業



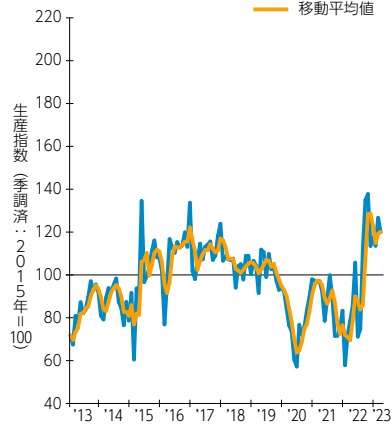
電子部品・デバイス工業



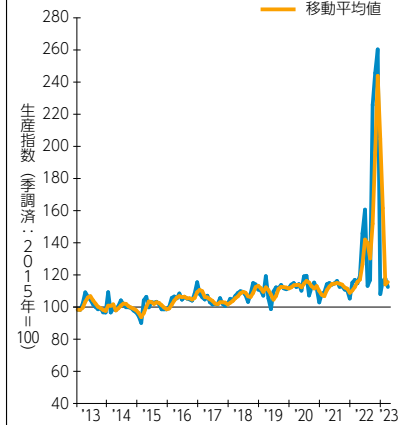
汎用・生産用・業務用機械工業



輸送機械工業



食料品工業



建設動向

公共工事請負金額は弱めの動きとなっている。住宅着工は持ち直しの動きが鈍化している。建築物着工はこのところ水準が低下している。

公共工事

4月の公共工事請負金額は、前年同月比5.4%増の475億円となり、3カ月ぶりに前年を上回った。

発注者別にみると、国の機関では、同25.4%増の78億円と前年を上回った。

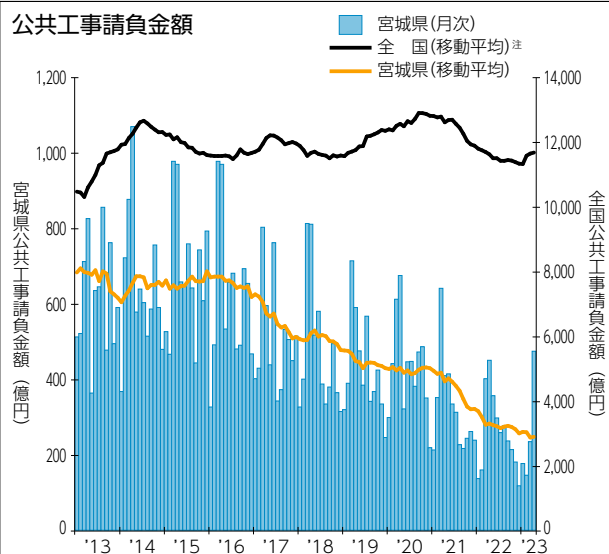
一方、地方の機関は、県が同27.8%減の145億円、市町村等は同34.2%増の252億円となり、全体で同2.1%増の396億円と前年を上回った。

また、震災前の2010年4月の請負金額（185億円）と比べた水準は2.6倍となっている。

水道事業（浄水場等）や廃棄物処理施設、学校などの改修や設備更新の大型工事が重なり、特に水道事業は58億円に及びました。公共投資は災害復旧から改修・更新へとシフトしつつあります。



公共工事請負金額



出典：東日本建設業保証(株)宮城支店「前払金保証から見た宮城県内の公共工事動向」(以下も同じ)

注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別)

(前年比、%)

	2023年2月	3月	4月
宮城県	▲ 8.4	▲ 41.6	5.4
国の機関	14.5	▲ 14.7	25.4
県	36.4	▲ 74.4	▲ 27.8
市町村等	▲ 35.4	▲ 28.2	34.2
全国	52.2	5.5	1.9

住宅建設

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比27.2%減の1,016戸（全国11.9%減、67,250戸）となり、前月に引続き前年を下回っている。

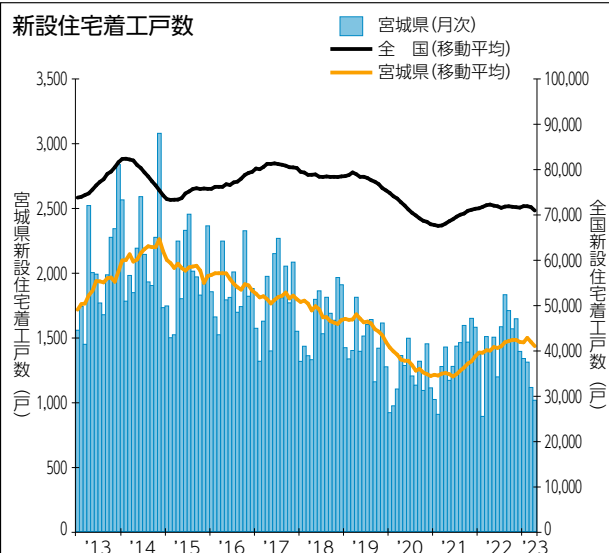
利用関係別にみると、持家が同30.9%減（262戸）、貸家が同25.2%減（527戸）、分譲が同27.3%減（224戸）と前年を下回った。

また、震災前の2010年4月の着工戸数（1,004戸）と比べた水準は1.2%増となっている。

低調な持家に加え、貸家・分譲も前年の反動などがみられました。貸家は昨年後半は700戸以上で推移してきましたが、今年に入り500戸前後となっており、仙台圏での減速が鮮明な状況です。



新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」(以下も同じ)

新設住宅着工戸数(利用関係別)

(前年比、%)

	2023年2月	3月	4月
宮城県	47.1	▲ 26.1	▲ 27.2
持家	▲ 3.5	▲ 10.7	▲ 30.9
貸家	68.4	▲ 16.0	▲ 25.2
分譲	76.7	▲ 41.6	▲ 27.3
全国	▲ 0.3	▲ 3.2	▲ 11.9

新設住宅着工戸数(市部・郡部別)

(前年比、%)

	2023年2月	3月	4月
市部	48.5	▲ 26.5	▲ 19.9
うち仙台市	75.3	▲ 35.9	▲ 18.6
うち仙台市以外	4.4	0.6	▲ 22.5
郡部	36.5	▲ 23.1	▲ 62.0

建築物着工

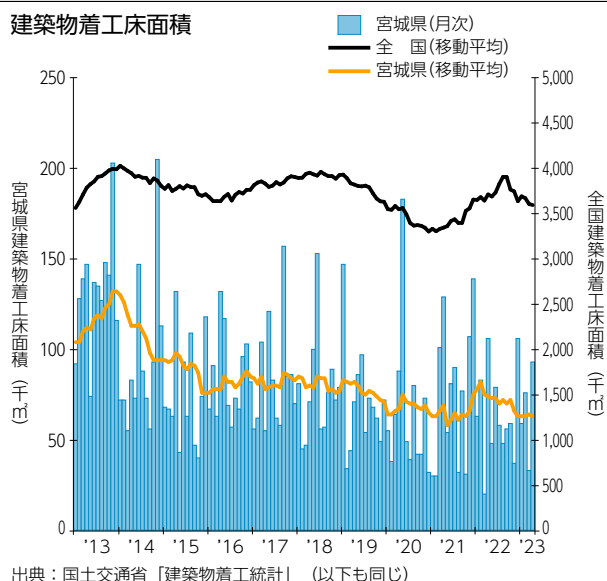
4月の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年同月比12.0%減の93千㎡、工事費予定額は同32.0%減の195億円となり、床面積、工事費予定額とも2カ月ぶりに前年を下回った。

使途別に床面積をみると、事務所（11千㎡：前年同月比78.4%減）、倉庫（7千㎡：同46.0%減）などが前年を下回った。

当月は仙台市泉区に大型物流施設（36千㎡）のほか工場や「その他の建築物」で着工水準が高まり、4カ月ぶりに100千㎡程度に達しました。



建築物着工床面積



出典：国土交通省「建築物着工統計」（以下も同じ）

建築物着工床面積（使途別）

（前年比、%）

	2023年2月	3月	4月
宮城県	▲ 7.5	62.6	▲ 12.0
事務所	▲ 84.6	2.4倍	▲ 78.4
店舗	2.0倍	8.4倍	▲ 10.7
工場	3.1倍	3.9倍	2.9倍
倉庫	82.0	21.8	▲ 46.0
その他	▲ 76.6	2.8	71.7
全国	▲ 7.0	▲ 23.2	▲ 3.5

建築物着工工事費予定額（使途別）

（前年比、%）

	2023年2月	3月	4月
宮城県	▲ 22.3	56.6	▲ 32.0
事務所	▲ 87.8	4.1倍	▲ 82.5
店舗	82.5	33.3倍	38.5
工場	5.6倍	2.2倍	2.9倍
倉庫	2.0倍	▲ 46.7	▲ 64.2
その他	▲ 78.3	5.1	54.0
全国	3.6	▲ 8.4	1.5

消費動向

宮城県消費動向指数は持ち直しの動きがみられ、小売業主要業態販売は底堅さがうかがわれる。乗用車新車販売は緩やかに持ち直している。

消費動向指数

4月の宮城県消費動向指数は、前月比4.8ポイント低下の101.8となり、2カ月ぶりに低下した。

消費費目別にみると、「光熱・水道」などが低下した。

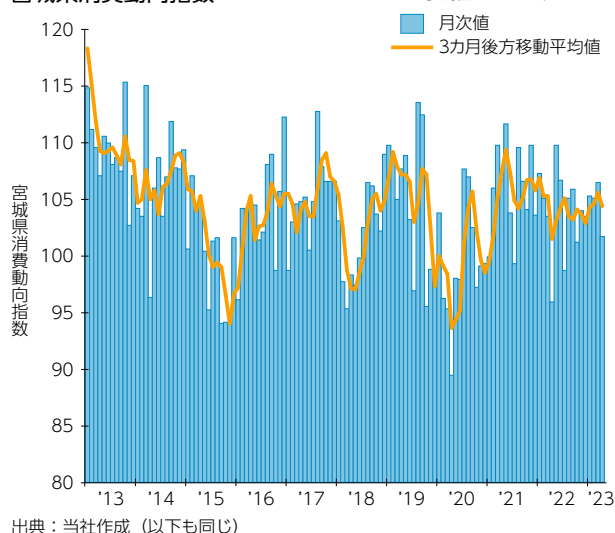
一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比1.2ポイント低下の104.5となった。

費目別では家具・家事用品や被服・履物、教養娯楽などといった買回品やサービスなどは堅調ですが、食品や光熱・水道などの基礎的支出で弱さがみられ、大型連休前のメリハリ消費の可能性も考えられます。



宮城県消費動向指数

季節調整：2015年=100



出典：当社作成（以下も同じ）

宮城県消費動向指数

（季節調整値、2015年=100）

	2023年2月	3月	4月
消費動向指数	105.2	106.6	101.8
家賃指数	108.6	108.5	108.5
乗用車販売指数	80.6	78.2	86.4
コア消費支出指数	115.5	116.5	115.2

※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

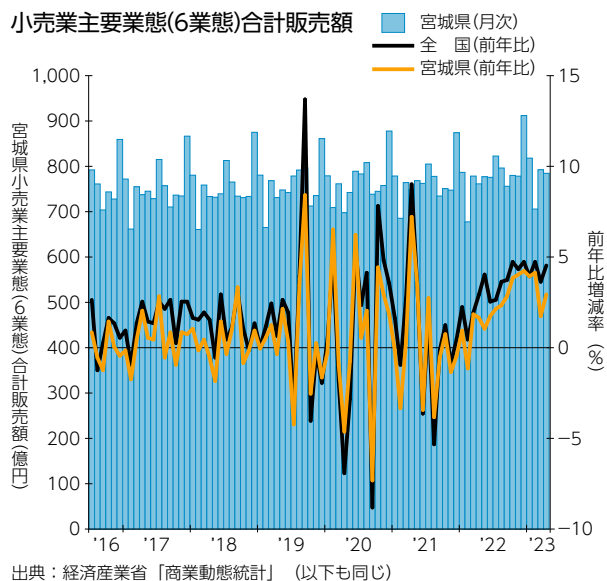
4月の小売業主要業態（6業態）の合計販売額（全店ベース）は、前年同月比3.0%増の788億円（全国4.6%増、4兆635億円）となり、14カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同4.6%増の333億円（全国5.2%増）となり、5カ月連続して前年を上回っている。コンビニエンスストアは同3.6%増の202億円（全国5.3%増）となり、14カ月連続して前年を上回っている。家電大型専門店と同8.9%減の50億円（全国3.9%減）となり、前月に引続き前年を下回っている。ドラッグストアは同6.9%増の139億円（全国8.8%増）となり、25カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同3.5%減の64億円（全国0.4%増）となり、前月に引続き前年を下回っている。

巣ごもり需要の反動を受ける3業態（スーパー・家電大型専門店・ホームセンター）のうち、スーパーのみが名目では前年比プラスを維持していますが、実質ではマイナス圏内にあり、値上げによる節約がうかがわれます。



小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額

(前年比、%)

	2023年2月	3月	4月
6業態合計(宮城県)	4.2	1.8	3.0
百貨店・スーパー	3.7	2.5	4.6
コンビニエンスストア	4.7	4.2	3.6
家電大型専門店	4.5	▲ 12.9	▲ 8.9
ドラッグストア	5.7	8.4	6.9
ホームセンター	0.8	▲ 5.7	▲ 3.5
6業態合計(全国)	4.8	3.7	4.6

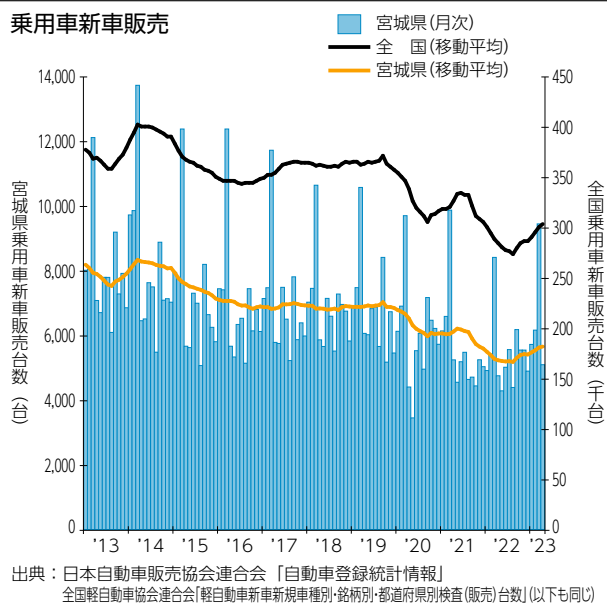
注) 全店ベース

乗用車新車販売

4月の乗用車新車販売台数は、前年同月比7.2%増（全国18.6%増）の5,103台となり、4カ月連続して前年を上回っている。

車種別にみると、普通車は、同11.9%増（全国38.3%増）の1,940台となり、4カ月連続して前年を上回っている。小型車は、同0.3%減（全国7.2%増）の1,418台となり、4カ月ぶりに前年を下回った。また、軽乗用車は、同8.7%増（全国6.3%増）の1,745台となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

乗用車新車販売



乗用車新車販売台数

(前年比、%)

	2023年2月	3月	4月
宮城県	14.0	12.3	7.2
普通車	36.9	27.6	11.9
小型車	6.1	7.9	▲ 0.3
軽乗用車	0.7	▲ 0.3	8.7
全国	23.0	12.0	18.6

観光動向

3月の延べ宿泊者数は、前年同月比41.8%増の822千人泊となり、17カ月連続して前年を上回っている。

居住地別にみると、県内宿泊客は同13.4%減の218千人泊と6カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同71.6%増の543千人泊と12カ月連続して前年を上回っている。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同13.4倍の22千人泊となり、7カ月連続して前年を上回っている。

2019年同月比の延べ宿泊者数は全体では▲7.6%までマイナス幅を縮小、県内客は▲11.7%ながら県外客は▲0.1%まで回復しています。ただ、今後は需要サイドもさることながら、人手不足など供給サイドの下押しにも注意が必要です。

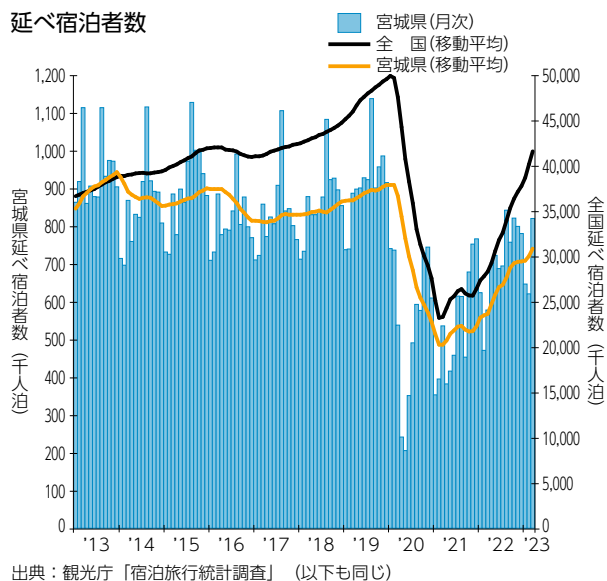


延べ宿泊者数(居住地別)

(千人泊)

	2023年1月	2月	3月
宮城県	648	622	822
うち県内客	223	174	218
うち県外客	388	421	543
うち外国人	24	23	22
全国	39,495	41,140	50,678
うち外国人	6,058	5,930	7,547

延べ宿泊者数



延べ宿泊者数(居住地別)

(前年比、%)

	2023年1月	2月	3月
宮城県	3.7	31.6	41.8
うち県内客	▲11.5	▲10.4	▲13.4
うち県外客	6.4	52.8	71.6
うち外国人	17.1倍	18.4倍	13.4倍
全国	38.9	76.7	51.5
うち外国人	27.6倍	28.9倍	22.8倍

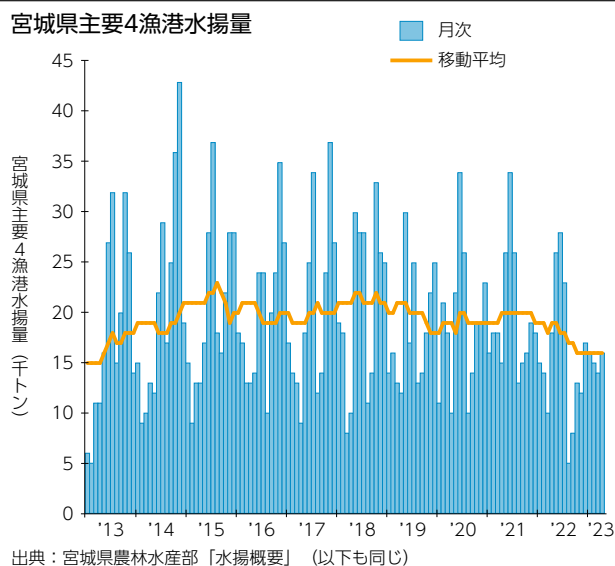
水産動向

4月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚げは、数量が前年同月比8.3%減の16千トン、金額が同32.8%増の37億円となり、数量は4カ月ぶりに前年を下回り、金額は5カ月連続して前年を上回っている。

魚種別にみると、数量はタラ類などが減少し、金額はマグロ類などが増加した。

漁港別にみると、数量は塩釜が前年を上回ったが、石巻、気仙沼、女川が前年を下回った。金額は気仙沼が前年を下回ったが、塩釜、石巻、女川が前年を上回った。

宮城県主要4漁港水揚げ量



主要漁港水揚げ量

(前年比、%)

	2023年2月	3月	4月
合計	6.8	41.0	▲8.3
塩釜	3.1倍	30.7	2.5倍
石巻	▲4.9	49.2	▲15.9
気仙沼	12.8	12.5	▲24.8
女川	26.0	58.1	▲4.0

主要漁港水揚げ金額

(前年比、%)

	2023年2月	3月	4月
合計	69.0	45.2	32.8
塩釜	2.9倍	98.3	2.2倍
石巻	49.5	34.2	3.8
気仙沼	43.8	28.3	▲19.9
女川	70.9	34.5	48.0

貿易動向

4月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比27.5%増の278億円、輸入が同17.4%増の923億円となった。

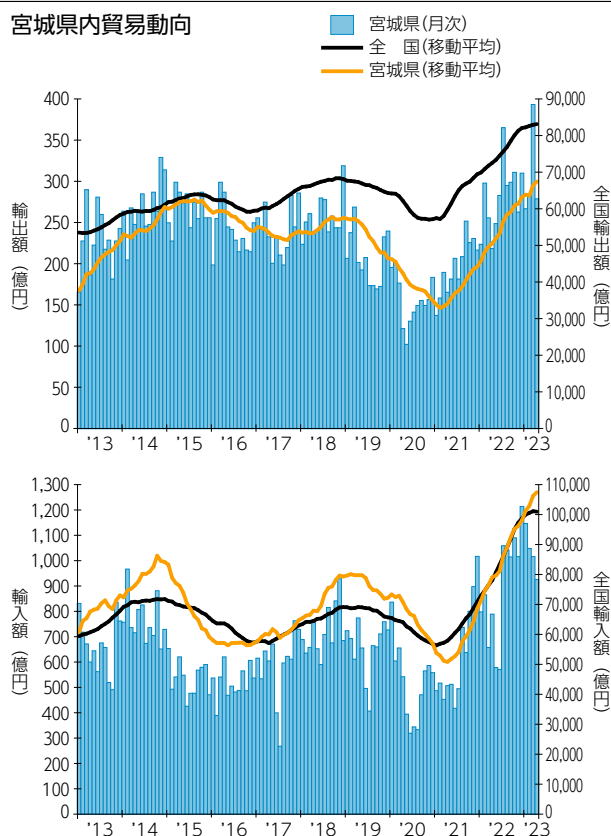
輸出はゴム製品が増加したことなどから前月に引続き前年を上回っている。一方、輸入は原油・粗油が増加したことなどから24カ月連続して前年を上回っている。

輸出額・輸入額

(前年比、%)

		2023年2月	3月	4月
宮城県	輸出	▲ 4.8	53.9	27.5
	輸入	21.1	54.5	17.4
全 国	輸出	6.5	4.3	2.6
	輸入	8.5	7.3	▲ 2.3

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」（以下も同じ）

物価動向

4月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.7%上昇の105.8となり22カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」などが上昇した。

政府による電気・ガス代の激変緩和措置の一方、年度変わりの節目で食品は再値上げ・再々値上げなどで上昇が続くほか、賃上げが新たなノルムとなる中で人件費の割合が高いサービス関連でも値上げの動きがみられています。



消費者物価指数（費目別）

(前年比、%)

		2023年2月	3月	4月
生鮮食品を除く食料		8.6	9.4	10.1
住居		2.4	2.6	2.7
光熱・水道	▲	2.4	▲ 4.7	▲ 6.2
家具・家事用品		8.6	11.4	8.6
被服および履物		5.2	4.5	5.8
保健医療		1.1	0.3	1.4
交通・通信		1.1	0.7	1.1
教育	▲	0.1	▲ 0.5	0.0
教養娯楽		1.8	1.7	2.5
諸雑費		1.6	1.8	1.5

仙台市消費者物価指数



注）生鮮食品除く総合

出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

(前年比、%)

		2023年2月	3月	4月
仙台市		3.5	3.5	3.7
全国		3.1	3.1	3.4

雇用動向

雇用情勢は全体としては持ち直しているものの、一部で人手不足による影響が強まっている。

4月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月に比べ有効求職者数、有効求人数ともに増加したことなどから、前月比横ばいの1.41倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業、建設業などが減少した。

有効求人倍率(原数値)を職業安定所別にみると、仙台(1.55倍)、大和(1.38倍)などが1倍を上回っている一方、大河原(0.68倍)、塩釜(0.73倍)などは1倍を下回っている。

当月の新規求人数は2カ月連続の前年比マイナス、特に製造業は海外経済の減速で低調な生産動向を反映して前年比10.6%減、建設業も14.4%減となっています。一方、宿泊・飲食サービスは3カ月連続の二桁増となるなど労働市場にも「アフター・コロナ」の気配が感じられます。



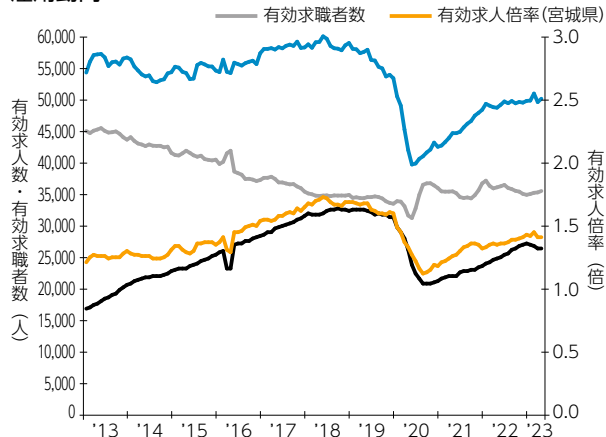
有効求人倍率等

(倍、%)

	2023年2月	3月	4月
有効求人倍率(宮城県)	1.45	1.41	1.41
(全 国)	1.34	1.32	1.32
新規求人数(前年比)(宮城県)	17.1	▲ 2.4	▲ 4.6

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」(以下も同じ)

職業安定所別有効求人倍率

(原数値、倍)

	2023年2月	3月	4月
気仙沼	1.22	1.08	1.07
石巻	1.59	1.46	1.30
塩釜	0.96	0.85	0.73
仙台	1.80	1.69	1.55
大和	1.60	1.44	1.38
古川	1.14	1.12	1.02
築館	1.55	1.53	1.33
迫	0.94	0.93	0.81
大河原	0.91	0.77	0.68
白石	1.37	1.37	1.13

倒産動向

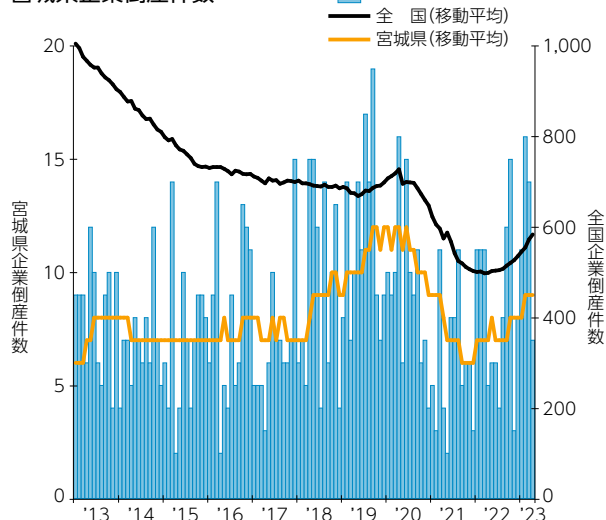
4月の企業倒産(負債総額1千万円以上)は、件数では前年同月比40.0%増の7件、負債額では同19.3%増の2億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業が3件などとなっている。

主因別では、全件が販売不振となっている。

地域別では、仙台市が6件、塩釜市が1件となっている。

宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」(以下も同じ)

企業倒産件数・負債額

(件、百万円)

		2023年2月	3月	4月
宮城県	件 数	16	14	7
	負債額	669	2,642	241
全 国	件 数	577	809	610
	負債額	96,580	147,434	203,861

企業倒産件数・負債額

(前年比、%)

		2023年2月	3月	4月
宮城県	件 数	45.5	27.3	40.0
	負債額	▲ 46.4	27.6	19.3
全 国	件 数	25.7	36.4	25.5
	負債額	36.0	▲ 13.1	2.5倍

人口動向

5月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比13,303人減の226万7,849人となり、25カ月連続して前年を下回っている。

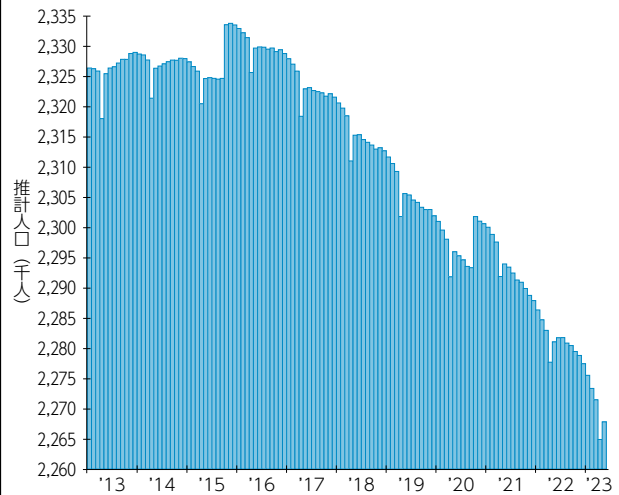
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,211人減、社会増減は2,908人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、仙台市（879人増）、大河原町（43人増）の2市町、減少したのは石巻市（2,021人減）、大崎市（1,669人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では7万9,004人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（5万1,067人増）、名取市（5,167人増）など8市町村では増加したが、石巻市（2万5,723人減）、気仙沼市（1万5,435人減）など27市町では減少している。

宮城県人口動向



宮城県人口

(人)

	2023年3月	4月	5月
総人口	2,271,525	2,264,921	2,267,849
自然増減	▲ 1,509	▲ 1,531	▲ 1,179
社会増減	▲ 380	▲ 5,073	4,107

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向（推計人口）

(人)

	2011年3月 ①	2022年5月 ②	2023年5月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①		2011年3月 ①	2022年5月 ②	2023年5月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①
宮城県	2,346,853	2,281,152	2,267,849	▲ 13,303	▲ 79,004	村田町	11,939	10,365	10,168	▲ 197	▲ 1,771
仙台市	1,046,737	1,096,925	1,097,804	879	51,067	柴田町	39,243	37,897	37,530	▲ 367	▲ 1,713
石巻市	160,394	136,692	134,671	▲ 2,021	▲ 25,723	川崎町	9,919	8,082	7,975	▲ 107	▲ 1,944
塩釜市	56,221	51,420	50,852	▲ 568	▲ 5,369	丸森町	15,362	11,645	11,351	▲ 294	▲ 4,011
気仙沼市	73,154	59,068	57,719	▲ 1,349	▲ 15,435	亘理町	34,795	32,930	32,800	▲ 130	▲ 1,995
白石市	37,273	31,845	31,220	▲ 625	▲ 6,053	山元町	16,608	11,867	11,638	▲ 229	▲ 4,970
名取市	73,603	78,791	78,770	▲ 21	5,167	松島町	15,014	13,033	12,848	▲ 185	▲ 2,166
角田市	31,188	27,220	26,744	▲ 476	▲ 4,444	七ヶ浜町	20,353	17,712	17,497	▲ 215	▲ 2,856
多賀城市	62,990	63,050	63,029	▲ 21	39	利府町	34,279	35,235	35,043	▲ 192	764
岩沼市	44,160	43,856	43,639	▲ 217	▲ 521	大和町	25,366	28,654	28,510	▲ 144	3,144
登米市	83,691	74,039	72,582	▲ 1,457	▲ 11,109	大郷町	8,871	7,666	7,546	▲ 120	▲ 1,325
栗原市	74,474	62,469	61,091	▲ 1,378	▲ 13,383	大衡村	5,361	5,657	5,579	▲ 78	218
東松島市	42,840	38,595	38,142	▲ 453	▲ 4,698	色麻町	7,406	6,443	6,337	▲ 106	▲ 1,069
大崎市	134,950	125,078	123,409	▲ 1,669	▲ 11,541	加美町	25,421	21,226	20,897	▲ 329	▲ 4,524
富谷市	47,501	51,491	51,382	▲ 109	3,881	涌谷町	17,399	14,838	14,573	▲ 265	▲ 2,826
蔵王町	12,847	11,090	10,871	▲ 219	▲ 1,976	美里町	25,055	23,420	23,111	▲ 309	▲ 1,944
七ヶ宿町	1,664	1,207	1,179	▲ 28	▲ 485	女川町	9,932	6,187	6,104	▲ 83	▲ 3,828
大河原町	23,465	23,588	23,631	43	166	南三陸町	17,378	11,871	11,607	▲ 264	▲ 5,771

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数

主要経済指標

	人口 宮城県 (千人)	世帯数 宮城県 (千世帯)	77BI (2015年 =100)	景気動向指数(CI) (2015年=100)			鉱 工 業 生 産 指 数 (2015年=100、季節調整値)									
				先行系列		一致系列	宮城県	東 北	全 国	前期(月)比(%)			前年比(%)			
				宮城県	全国	宮城県				宮城県	東 北	全 国	宮城県	東 北	全 国	
2021年	2,248	1,011	100.4										8.0	10.6	5.6	
2022年	2,233	1,020	100.9										8.7	0.7	- 0.1	
2020年度	2,252	1,004	99.4										- 7.6	- 6.5	- 9.6	
2021年度	2,240	1,013	100.6										10.5	10.6	5.8	
2022年度	2,223	1,021	100.9										6.7	1.2	- 0.2	
'22年1～3月	2,240	1,013	100.4				102.4	98.9	95.7	- 5.7	- 5.8	0.8	4.5	- 0.2	- 0.6	
4～6月	2,241	1,019	100.6				106.9	101.6	93.1	4.4	2.7	- 2.7	3.8	1.2	- 3.7	
7～9月	2,238	1,020	101.1				122.7	108.9	98.5	14.8	7.2	5.8	13.5	3.6	4.2	
10～12月	2,233	1,020	101.3				122.7	103.8	95.5	0.0	- 4.7	- 3.0	12.5	- 1.9	- 0.2	
'23年1～3月	2,223	1,021	100.5				99.5	100.5	93.8	- 18.9	- 3.2	- 1.8	- 3.4	2.1	- 1.4	
2022年 4月	2,242	1,018	100.0	118.6	96.8	88.7	100.5	102.8	95.1	- 4.6	4.3	- 1.5	0.3	2.2	- 4.9	
5月	2,242	1,019	100.8	120.9	96.0	88.6	105.0	99.3	88.0	4.5	- 3.4	- 7.5	9.8	3.9	- 3.1	
6月	2,241	1,019	101.1	121.4	98.6	91.5	115.3	102.6	96.1	9.8	3.3	9.2	2.0	- 2.0	- 2.8	
7月	2,240	1,019	100.3	123.7	99.2	94.9	109.9	105.0	96.9	- 4.7	2.3	0.8	1.6	- 0.1	- 2.0	
8月	2,239	1,020	101.1	129.9	100.7	96.2	119.7	109.0	100.2	8.9	3.8	3.4	9.2	3.5	5.8	
9月	2,238	1,020	101.9	123.2	100.0	99.2	138.6	112.7	98.5	15.8	3.4	- 1.7	28.7	7.2	9.6	
10月	2,237	1,020	101.4	122.3	99.2	97.1	131.4	102.9	95.3	- 5.2	- 8.7	- 3.2	22.4	- 1.3	3.0	
11月	2,235	1,020	101.6	120.4	99.2	98.4	133.8	106.3	95.5	1.8	3.3	0.2	23.0	1.1	- 0.9	
12月	2,233	1,020	100.8	124.1	99.2	93.0	102.9	102.1	95.8	- 23.1	- 4.0	0.3	- 6.2	- 5.6	- 2.4	
2023年 1月	2,231	1,019	100.3	122.5	96.8	92.5	95.3	100.2	90.7	- 7.4	- 1.9	- 5.3	- 9.5	- 0.6	- 3.1	
2月	2,229	1,019	100.7	125.9	99.1	95.5	101.0	99.9	94.9	6.0	- 0.3	4.6	2.2	4.1	- 0.5	
3月	2,223	1,021	100.5	123.9	99.2	96.5	102.1	101.3	95.9	1.1	1.4	1.1	- 3.0	2.8	- 0.6	
4月	2,226	1,025	100.5		99.4				95.5			- 0.4			- 0.3	
資料出所	宮 城 県		当 社	内閣府・宮城県			経済産業省・東北経済産業局・宮城県									

注) ①人口・世帯数の暦年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。 ②77BIは季節調整値。

	新 設 住 宅 着 工 戸 数 (戸)														
	宮城県	東 北	全 国	前年比 (%)											
				総戸数			持 家			貸 家			分 譲		
				宮城県	東 北	全 国	宮城県	東 北	全 国	宮城県	東 北	全 国	宮城県	東 北	全 国
2021年	16,271	47,480	856,484	12.6	6.0	5.0	9.9	5.4	9.4	19.1	6.9	4.8	6.6	7.3	1.5
2022年	17,604	47,593	859,529	8.2	0.2	0.4	-13.7	-14.3	-11.3	20.3	14.8	7.4	15.2	12.3	4.7
2020年度	14,661	44,359	812,164	-10.8	-13.8	-8.1	-7.6	-7.0	-7.1	-16.6	-23.8	-9.4	-4.8	-12.6	-7.9
2021年度	16,835	48,432	865,909	14.8	9.2	6.6	6.6	4.2	6.9	24.1	15.6	9.2	11.3	12.3	3.9
2022年度	17,599	46,601	860,828	4.5	-3.8	-0.6	-13.1	-13.4	-11.8	14.1	7.4	5.0	8.8	0.5	4.5
'22年1~3月	3,770	10,284	200,424	17.6	10.2	4.9	-9.9	-12.0	-6.9	33.4	30.5	13.5	28.0	28.7	7.6
4~6月	4,096	12,237	218,135	5.7	-0.2	-1.3	-9.3	-9.6	-8.9	7.0	10.1	2.5	23.4	9.1	2.7
7~9月	5,128	13,124	224,759	14.2	-1.1	0.04	-14.4	-18.1	-12.8	24.1	12.7	6.3	32.1	20.5	7.1
10~12月	4,610	11,948	216,211	-1.9	-5.3	-1.6	-19.8	-16.6	-15.7	20.3	11.3	8.4	-18.9	-8.2	1.8
'23年1~3月	3,765	9,292	201,723	-0.1	-9.6	0.6	-6.1	-6.4	-8.9	1.6	-7.0	3.0	1.9	-15.3	6.5
2022年4月	1,395	4,275	76,295	-2.3	2.5	2.4	-11.4	-6.4	-8.0	18.9	23.8	2.4	-23.8	-11.3	12.1
5月	1,504	4,046	67,223	28.5	9.1	-4.2	-11.2	-11.0	-6.9	18.1	22.5	3.5	114.4	52.4	-8.5
6月	1,197	3,916	74,617	-6.3	-10.5	-2.2	-4.9	-11.2	-11.3	-12.7	-11.5	1.7	6.9	-7.7	4.1
7月	1,585	4,258	73,024	10.5	-3.4	-5.4	-14.3	-18.8	-14.0	47.6	23.7	1.6	-3.7	-1.2	-4.0
8月	1,833	4,393	77,731	25.4	0.4	4.6	-8.1	-18.0	-11.1	30.7	17.9	8.9	60.4	18.6	16.2
9月	1,710	4,473	74,004	7.2	-0.2	1.1	-20.4	-17.6	-13.3	1.1	-1.4	8.4	52.5	46.9	10.2
10月	1,569	4,083	76,590	7.0	-8.1	-1.8	-10.4	-17.4	-18.7	47.8	3.0	7.3	-23.1	-5.3	4.8
11月	1,647	4,031	72,372	-0.2	-5.1	-1.4	-26.6	-18.1	-15.1	24.9	14.8	11.4	-19.4	-15.9	-0.8
12月	1,394	3,834	67,249	-11.8	-2.5	-1.7	-22.0	-14.0	-13.0	-3.8	16.8	6.4	-13.1	-4.4	1.4
2023年1月	1,339	2,951	63,604	-2.3	-15.4	6.6	-4.0	-6.5	-8.3	-17.4	-22.2	4.2	29.6	-16.2	25.0
2月	1,311	2,907	64,426	47.1	2.3	-0.3	-3.5	-1.6	-4.6	68.4	10.8	4.7	76.7	-1.5	-1.8
3月	1,115	3,434	73,693	-26.1	-13.2	-3.2	-10.7	-10.1	-13.6	-16.0	-2.1	0.9	-41.6	-23.5	-0.4
4月	1,016	3,871	67,250	-27.2	-9.5	-11.9	-30.9	-8.2	-11.6	-25.2	-24.2	-2.8	-27.3	22.6	-21.8
資料出所	国 土 交 通 省														

注) 新設住宅着工戸数の四半期の数値は当社集計。

	公 共 工 事 請 負 金 額 (億円)						建築物着工床面積 (千㎡)				建築物着工工事費予定額 (億円)			
	宮城県	東 北	全 国	前年比 (%)			宮城県	全 国	前年比 (%)		宮城県	全 国	前年比 (%)	
				宮城県	東 北	全 国			宮城県	全 国			宮城県	全 国
2021年	3,869	17,186	142,867	- 25.0	- 25.7	- 7.2	901	43,874	15.0	10.7	1,797	97,489	- 5.6	12.5
2022年	3,090	14,170	136,174	- 20.2	- 17.5	- 4.7	762	43,652	- 15.4	- 0.5	1,735	101,656	- 3.4	4.3
2020年度	5,011	23,215	153,658	- 1.5	13.1	2.3	788	39,980	- 0.1	- 7.1	1,799	87,273	- 1.0	- 8.0
2021年度	3,361	14,958	140,503	- 32.9	- 35.6	- 8.6	905	43,738	14.9	9.4	1,829	95,879	1.7	9.9
2022年度	2,949	14,685	139,937	- 12.3	- 1.8	- 0.4	764	43,296	- 15.6	- 1.0	1,778	103,672	- 2.8	8.1
'22年 1～3月	699	2,130	25,605	- 42.1	- 51.1	- 8.5	166	9,703	3.0	- 1.4	322	20,505	11.1	- 7.3
4～6月	1,106	5,591	49,296	- 4.7	- 8.0	- 4.4	233	12,749	- 11.8	9.1	597	28,943	22.9	11.0
7～9月	773	4,130	37,471	2.2	1.3	- 1.8	162	11,642	- 18.6	21.6	388	27,952	- 14.9	34.9
10～12月	512	2,318	23,802	- 31.3	- 13.2	- 5.4	202	9,559	- 27.3	- 25.2	429	24,256	- 24.2	- 15.1
'23年 1～3月	558	2,645	29,368	- 20.2	24.1	14.7	168	9,346	1.4	- 3.7	365	22,521	13.2	9.8
2022年 4月	451	2,492	20,105	10.0	4.0	- 4.0	106	4,503	- 17.7	22.3	286	10,063	35.5	33.4
5月	357	1,317	12,672	- 14.0	- 24.0	- 10.3	48	3,707	- 11.4	- 7.0	91	9,030	- 12.6	- 12.2
6月	298	1,782	16,519	- 11.1	- 8.7	0.1	79	4,539	- 2.7	13.1	219	9,850	29.1	19.4
7月	259	1,404	12,924	- 17.4	- 6.7	- 7.0	58	4,639	- 35.3	32.6	109	11,114	- 28.1	52.2
8月	277	1,349	11,562	22.1	9.5	- 0.1	48	3,708	50.6	33.8	136	8,635	126.1	27.1
9月	237	1,378	12,985	9.6	2.9	2.4	56	3,295	- 27.8	- 0.3	143	8,203	- 41.5	24.0
10月	214	1,143	10,558	- 12.2	8.3	- 1.9	59	3,238	88.6	- 33.9	107	8,441	129.4	- 31.6
11月	181	641	6,961	- 31.2	- 31.7	- 7.6	37	3,163	- 65.6	- 7.3	82	7,905	- 51.6	19.7
12月	118	534	6,283	- 50.9	- 21.1	- 8.4	106	3,158	- 23.7	- 29.3	240	7,911	- 31.4	- 18.0
2023年 1月	177	519	5,088	28.7	43.8	- 2.3	59	3,590	- 6.6	22.2	155	8,711	59.1	36.5
2月	146	661	8,978	- 8.4	48.1	52.2	76	3,216	- 7.5	- 7.0	140	7,556	- 22.3	3.6
3月	235	1,465	15,301	- 41.6	10.7	5.5	33	2,540	62.6	- 23.2	70	6,255	56.6	- 8.4
4月	475	2,074	20,480	5.4	- 16.7	1.9	93	4,348	- 12.0	- 3.5	195	10,215	- 32.0	1.5
資料出所	東日本建設業保証(株)宮城支店 北海道、東日本、西日本の三保証株式会社						国 土 交 通 省							

注) ①公共工事請負金額の暦年・四半期の数値は当社集計。

②建築物着工床面積および建築物着工工事費予定額は民間非住宅の数値で、当社集計。

	消費活動 指 数	宮 城 県 消費動向 指 数	百貨店・スーパー (販売額：右同)				コンビニエンスストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター	
			宮城県 (億円)	全 国 (億円)	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)	
					宮城県	全 国	宮城県	全 国	宮城県	全 国	宮城県	全 国	宮城県	全 国
2021年		106.0	3,980	199,071	- 1.4	0.9	0.6	1.3	- 0.3	- 2.3	3.4	0.3	- 0.4	- 3.0
2022年		104.0	4,012	206,603	0.8	3.8	2.7	3.8	1.0	- 0.01	7.9	5.5	- 1.6	- 1.4
2020年度		101.3	3,997	196,297	- 2.6	- 5.1	- 4.4	- 5.0	5.0	8.4	6.8	3.2	8.2	6.7
2021年度		106.0	3,973	199,978	- 0.6	1.9	1.1	2.4	- 1.2	- 4.9	5.1	2.2	- 2.9	- 4.3
2022年度		104.1	4,039	208,918	1.6	4.5	3.6	4.6	0.4	- 0.2	8.2	5.8	- 1.1	- 0.9
'22年 1～3月	95.2	105.4	962	48,856	- 0.7	1.9	0.3	1.8	1.4	- 0.9	6.9	4.9	- 4.3	- 2.9
4～6月	96.7	104.3	971	49,787	0.2	5.1	2.9	3.5	- 0.8	- 0.1	5.9	2.7	- 2.3	- 2.1
7～9月	96.8	103.3	991	50,778	1.8	4.1	3.0	3.7	- 3.0	- 0.3	7.9	5.9	- 1.4	- 2.1
10～12月	96.6	103.0	1,087	57,182	1.7	4.0	4.4	6.0	6.7	1.1	10.9	8.4	1.2	1.2
'23年 1～3月	97.6	105.7	989	51,170	2.8	4.7	4.0	5.4	- 0.9	- 1.5	8.0	6.1	- 2.1	- 0.3
2022年 4月	96.3	96.0	319	16,243	0.2	4.6	3.0	2.7	- 1.6	0.7	6.1	3.1	- 0.2	- 1.5
5月	96.7	109.9	326	16,809	0.5	9.1	2.7	3.5	- 4.1	- 3.9	6.7	1.7	- 5.1	- 3.9
6月	97.2	106.8	327	16,735	- 0.003	1.9	3.0	4.2	3.5	2.8	5.0	3.3	- 1.1	- 0.7
7月	96.6	98.8	346	17,704	1.7	3.3	3.3	3.4	- 6.8	- 3.9	8.5	6.8	- 1.6	- 2.2
8月	96.1	105.2	331	16,776	1.4	4.3	4.0	5.2	- 7.0	- 2.3	8.0	5.3	- 1.2	- 1.1
9月	97.6	106.0	314	16,299	2.3	4.7	1.5	2.3	6.6	6.4	7.1	5.6	- 1.4	- 3.2
10月	97.7	101.3	334	17,326	2.1	4.9	5.4	6.5	- 3.2	0.1	9.3	6.0	4.0	1.7
11月	96.5	104.1	333	17,590	- 0.1	3.0	5.2	7.9	19.8	0.3	10.0	7.9	- 1.7	- 1.3
12月	95.7	103.6	420	22,266	2.9	4.1	2.9	3.9	4.4	2.5	13.1	11.1	1.1	2.9
2023年 1月	97.4	105.4	348	17,681	2.3	5.5	3.1	4.1	6.4	- 0.3	9.9	5.0	- 0.4	- 1.4
2月	98.7	105.2	304	15,820	3.7	5.2	4.7	6.2	4.5	1.3	5.7	5.6	0.8	0.1
3月	96.8	106.6	338	17,669	2.5	3.6	4.2	6.0	- 12.9	- 4.6	8.4	7.8	- 5.7	0.3
4月	96.9	101.8	333	17,095	4.6	5.2	3.6	5.3	- 8.9	- 3.9	6.9	8.8	- 3.5	0.4
資料出所	日本銀行 当 社		経 済 産 業 省											

注) ①消費活動指数、宮城県消費動向指数は2015年を100とした季節調整値。

②百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの前年比は全店ベース。

	乗 用 車 新 車 販 売 台 数						延べ宿泊者数 (千人泊)				外国人延べ宿泊者数 (千人泊)			
	宮城県 (台)	東 北 (台)	全 国 (千台)	前年比 (%)			宮城県	全 国	前年比 (%)		宮城県	全 国	前年比 (%)	
				宮城県	東 北	全 国			宮城県	全 国			宮城県	全 国
2021年	67,239	262,570	3,670	-7.7	-6.6	-3.5	6,435	317,774	-2.1	-4.2	49	4,317	-62.3	-78.8
2022年	65,013	249,896	3,443	-3.3	-4.8	-6.2	8,493	453,973	32.0	42.9	67	16,760	36.1	288.2
2020年度	72,701	282,620	3,852	-9.2	-8.5	-7.6	5,839	280,391	-44.8	-51.0	36	3,589	-93.5	-96.6
2021年度	63,364	246,892	3,462	-12.8	-12.6	-10.1	6,823	340,576	16.9	21.5	42	4,134	16.0	15.2
2022年度	67,620	262,607	3,609	6.7	6.4	4.2	8,907	500,117	30.5	46.8	132	35,540	211.3	759.7
'22年1~3月	18,760	71,042	987	-17.1	-18.1	-17.4	1,677	85,169	30.2	36.6	4	756	-62.9	-19.5
4~6月	14,079	54,138	723	-6.2	-10.3	-14.5	2,111	104,846	67.6	66.5	12	1,842	16.7	158.4
7~9月	16,159	62,150	846	8.8	6.1	2.1	2,300	126,690	36.5	50.4	13	2,240	-26.8	32.5
10~12月	16,015	62,566	887	8.6	10.0	10.8	2,406	137,268	9.2	26.9	38	11,923	276.0	1,121.9
'23年1~3月	21,367	83,753	1,152	13.9	17.9	16.7	2,091	131,313	24.7	54.2	68	19,535	1,507.7	2,484.9
2022年4月	4,761	18,510	244	-9.4	-12.2	-15.3	698	33,633	82.0	50.7	4	531	56.8	132.6
5月	4,294	16,158	211	-5.8	-14.0	-19.1	724	36,740	73.7	77.3	5	674	24.3	182.2
6月	5,024	19,470	268	-3.3	-5.1	-9.7	689	34,472	50.0	73.2	3	636	-21.8	159.2
7月	5,571	21,738	288	1.5	-0.2	-6.9	696	39,824	13.1	31.9	3	696	-71.0	-11.3
8月	4,398	16,776	234	-5.4	-9.0	-11.2	844	47,450	37.3	51.6	6	728	-1.0	18.9
9月	6,190	23,636	325	31.2	28.7	26.6	759	39,416	67.1	73.1	4	816	102.4	179.0
10月	5,556	21,697	295	24.9	28.2	28.5	823	44,271	21.0	38.0	10	2,118	331.6	579.8
11月	5,555	22,169	308	5.7	5.1	5.7	801	46,093	6.3	24.8	13	3,824	294.8	1,044.8
12月	4,904	18,700	284	-2.7	-0.9	1.5	782	46,904	1.8	19.7	15	5,981	233.2	1,711.9
2023年1月	5,731	21,735	320	16.4	19.5	17.5	648	39,495	3.7	38.9	24	6,058	1,608.0	2,656.5
2月	6,173	23,947	356	14.0	19.5	23.0	622	41,140	31.6	76.7	23	5,930	1,744.4	2,787.1
3月	9,463	38,071	477	12.3	16.0	12.0	822	50,678	41.8	51.5	22	7,547	1,238.3	2,183.1
4月	5,103	20,617	289	7.2	11.4	18.6								
資料出所	日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会						観 光 庁							

注) ①乗用車新車販売台数は普通乗用車、小型乗用車および軽乗用車の合計値。

②延べ宿泊者数は全宿泊施設の数値。

	完 全 失 業 者		新 規 求 人 倍 率			有 効 求 人 倍 率			企 業 物 価 指 数		消 費 者 物 価 指 数 (2020年=100)			
	失業者数 (万人)	失業率 (%)	宮城県 (倍)	東 北 (倍)	全 国 (倍)	宮城県 (倍)	東 北 (倍)	全 国 (倍)	2020年 = 100	前年比 (%)	仙台市	全 国	前年比 (%)	
													仙台市	全 国
2021年	195	2.8	2.11	1.99	2.03	1.30	1.26	1.13	104.6	4.6	100.0	99.8	0.0	-0.2
2022年	179	2.6	2.23	2.14	2.28	1.38	1.38	1.28	114.7	9.7	103.0	102.1	3.0	2.3
2020年度	200	2.9	1.93	1.78	1.90	1.20	1.13	1.10	99.9	-1.5	99.8	99.9	-0.3	-0.4
2021年度	191	2.8	2.17	2.05	2.09	1.33	1.31	1.16	107.0	7.1	100.4	99.9	0.5	0.1
2022年度	178	2.6	2.23	2.12	2.31	1.40	1.39	1.31	117.1	9.4	104.0	103.0	3.6	3.0
'22年1~3月	185	2.7	2.24	2.11	2.20	1.35	1.36	1.21	110.4	9.3	101.2	100.5	1.4	0.6
4~6月	179	2.6	2.21	2.10	2.23	1.36	1.36	1.25	113.6	9.7	102.3	101.6	2.6	2.1
7~9月	178	2.6	2.22	2.15	2.31	1.38	1.39	1.30	115.9	9.6	103.5	102.5	3.5	2.7
10~12月	174	2.5	2.27	2.19	2.37	1.41	1.42	1.35	119.0	10.0	104.9	103.8	4.3	3.8
'23年1~3月	181	2.6	2.23	2.03	2.33	1.43	1.38	1.34	119.7	8.4	105.3	104.0	4.0	3.5
2022年4月	178	2.6	2.16	2.07	2.20	1.35	1.36	1.24	113.2	9.9	102.0	101.4	2.5	2.1
5月	180	2.6	2.25	2.10	2.24	1.36	1.36	1.25	113.3	9.4	102.3	101.6	2.6	2.1
6月	180	2.6	2.22	2.13	2.24	1.36	1.36	1.27	114.3	9.6	102.7	101.7	3.0	2.2
7月	177	2.6	2.17	2.14	2.32	1.37	1.38	1.28	115.2	9.3	103.2	102.2	3.2	2.4
8月	176	2.5	2.30	2.17	2.30	1.39	1.40	1.31	115.7	9.6	103.3	102.5	3.4	2.8
9月	182	2.6	2.18	2.15	2.30	1.39	1.40	1.32	116.9	10.3	104.0	102.9	3.8	3.0
10月	178	2.6	2.18	2.15	2.33	1.40	1.41	1.34	118.1	9.7	104.5	103.4	4.3	3.6
11月	173	2.5	2.30	2.20	2.38	1.41	1.42	1.35	119.1	9.9	104.8	103.8	4.1	3.7
12月	171	2.5	2.33	2.22	2.38	1.43	1.43	1.36	119.9	10.6	105.3	104.1	4.7	4.0
2023年1月	167	2.4	2.21	2.07	2.38	1.42	1.42	1.35	119.9	9.6	105.7	104.3	4.9	4.2
2月	180	2.6	2.33	2.00	2.32	1.45	1.38	1.34	119.5	8.3	104.7	103.6	3.5	3.1
3月	195	2.8	2.15	2.03	2.29	1.41	1.34	1.32	119.6	7.4	105.4	104.1	3.5	3.1
4月	180	2.6	2.06	1.97	2.23	1.41	1.35	1.32	119.8	5.8	105.8	104.8	3.7	3.4
資料出所	総務省		厚 生 労 働 省			日 本 銀 行		総 務 省 ・ 宮 城 県						

注) ①完全失業者、企業物価指数は全国の数値。 ②消費者物価指数は生鮮食品を除く総合指数。

③仙台市消費者物価指数の四半期の数値は当社集計。

	宮城県主要4漁港水揚								宮城県貿易			
	数 量						金 額		輸 出		輸 入	
	水揚数量 (千トン)	前 年 比 (%)					水揚金額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
		塩 釜	石 巻	気仙沼	女 川							
2021年	234	2.0	- 4.5	- 2.9	6.1	8.7	492	3.2	2,347	26.3	7,467	20.7
2022年	188	- 19.4	- 30.2	5.1	- 38.9	- 36.6	495	0.6	3,359	43.1	10,669	42.9
2020年度	231	1.8	- 25.0	- 1.3	4.6	17.3	474	0.1	1,770	- 24.1	5,562	- 29.9
2021年度	221	- 4.1	- 15.9	- 6.5	10.1	- 16.5	489	3.3	2,638	49.0	8,319	49.6
2022年度	194	- 12.2	- 21.5	11.3	- 37.4	- 18.2	525	7.3	3,525	33.6	11,552	38.9
'22年1～3月	39	- 24.3	- 46.7	- 13.5	6.9	- 48.3	67	- 3.6	775	60.1	2,314	59.2
4～6月	72	- 4.4	- 25.8	33.7	- 37.4	- 36.3	157	11.3	748	35.3	1,933	34.9
7～9月	36	- 33.8	- 20.4	- 11.9	- 55.9	60.0	144	- 2.4	955	49.4	3,107	66.6
10～12月	41	- 21.2	- 24.4	- 5.2	- 27.1	- 57.1	127	- 5.1	881	31.2	3,311	22.3
'23年1～3月	45	14.4	- 12.5	11.1	19.3	25.0	97	44.9	941	21.4	3,201	38.3
2022年 4月	18	16.8	- 26.4	63.0	82.9	- 42.5	28	11.4	218	31.8	787	55.6
5月	26	1.7	- 22.5	43.8	- 25.9	- 41.4	46	10.8	248	36.9	577	12.9
6月	28	- 18.4	- 28.7	11.8	- 51.4	- 23.1	82	11.6	282	36.7	569	36.7
7月	23	- 12.0	31.5	13.6	- 43.7	58.4	78	20.2	364	101.4	1,056	113.7
8月	5	- 60.2	- 24.2	- 57.9	- 67.8	155.2	29	- 16.8	294	41.5	1,039	41.4
9月	8	- 49.3	- 47.5	- 28.8	- 63.5	27.0	37	- 22.8	298	18.6	1,012	59.1
10月	13	- 18.8	- 50.1	8.6	- 33.2	- 28.2	44	7.2	310	38.1	1,087	36.3
11月	12	- 36.1	- 35.4	- 37.9	- 28.0	- 51.9	40	- 23.5	262	13.7	1,013	13.2
12月	17	- 7.9	0.9	22.2	- 14.9	- 73.9	43	6.3	309	42.7	1,210	19.4
2023年 1月	16	3.9	- 69.1	10.3	30.7	- 3.2	39	30.9	266	19.4	1,143	43.7
2月	15	6.8	207.7	- 4.9	12.8	26.0	29	69.0	283	- 4.8	1,045	21.1
3月	14	41.0	30.7	49.2	12.5	58.1	29	45.2	392	53.9	1,013	54.5
4月	16	- 8.3	150.5	- 15.9	- 24.8	- 4.0	37	32.8	278	27.5	923	17.4
資料出所	宮 城 県								横 浜 税 関			

注) 宮城県主要4漁港水揚の年度・四半期の数値および宮城県貿易の年度・四半期・月次の数値は当社集計。

	企 業 倒 産 (負債総額 1千万円以上)								宮城県内預金残高		宮城県内貸出金残高	
	件数(件)	前 年 比 (%)			負債額(億円)	前 年 比 (%)			金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
	宮城県	宮城県	東 北	全 国	宮城県	宮城県	東 北	全 国				
2021年	72	- 36.3	- 32.4	- 22.4	165	- 29.6	3.4	- 5.7	116,903	4.0	73,451	2.7
2022年	100	38.9	42.1	6.6	227	37.7	- 9.1	102.6	120,926	3.4	78,276	6.6
2020年度	103	- 25.9	- 31.0	- 17.0	90	- 75.6	- 58.6	- 4.5	115,258	7.9	71,771	3.1
2021年度	86	- 16.5	- 3.7	- 16.5	199	120.9	81.9	- 3.3	118,383	2.7	74,245	3.4
2022年度	108	25.6	15.7	15.1	225	12.8	- 4.6	99.0	121,092	2.3	78,618	5.9
'22年1～3月	33	73.7	82.5	- 3.2	47	269.1	79.6	5.9	118,383	2.7	74,245	3.4
4～6月	17	21.4	34.0	4.4	27	144.9	85.1	336.1	118,317	1.6	74,163	3.1
7～9月	24	0.0	9.5	9.5	47	- 61.7	- 49.5	34.6	117,752	3.0	74,823	3.5
10～12月	26	73.3	44.3	15.9	106	465.9	- 17.5	- 1.4	120,926	3.4	78,276	6.6
'23年1～3月	41	24.2	- 8.7	30.1	45	- 4.5	62.4	- 2.3	121,092	2.3	78,618	5.9
2022年 4月	5	25.0	100.0	1.9	2	- 60.3	- 6.1	- 3.4	119,299	3.1	74,176	3.5
5月	6	200.0	57.1	11.0	23	2,520.9	370.4	- 48.2	117,212	0.9	74,069	3.3
6月	6	- 25.0	- 8.0	0.9	2	- 59.0	65.3	1,697.7	118,317	1.6	74,163	3.1
7月	4	- 50.0	20.0	3.8	9	- 92.3	- 67.0	18.3	117,710	1.1	74,861	3.8
8月	8	- 27.3	- 25.9	5.6	33	441.2	14.3	22.5	116,941	1.6	75,031	4.4
9月	12	140.0	56.3	18.6	6	82.0	- 57.5	59.4	117,752	3.0	74,823	3.5
10月	15	150.0	88.0	13.5	24	94.1	27.9	- 11.6	117,828	2.6	74,939	3.7
11月	3	- 50.0	- 11.5	13.9	78	1,642.5	90.6	22.8	117,460	2.7	75,158	3.8
12月	8	166.7	63.2	20.2	4	120.9	- 76.5	- 15.0	120,926	3.4	78,276	6.6
2023年 1月	11	0.0	- 26.7	26.1	12	- 14.8	- 46.3	- 15.6	120,692	4.3	78,275	6.8
2月	16	45.5	16.1	25.7	7	- 46.4	360.3	36.0	120,289	3.4	78,030	6.1
3月	14	27.3	- 14.0	36.4	26	27.6	- 11.1	- 13.1	121,092	2.3	78,618	5.9
4月	7	40.0	13.6	25.5	2	19.3	- 9.2	150.9	121,127	1.5	78,600	6.0
資料出所	(株) 東 京 商 工 リ サ ー チ								日 本 銀 行			

注) ①企業倒産の四半期の数値は当社集計。

②預金残高、貸出金残高の歴年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。

経済日誌 (2023年5月分)

宮 城 県		東 北	
9日	仙台国際航空は大型連休中（4月28日～5月7日）の仙台空港の旅客数を発表した。国内線は前年比14.7%増・2019年比22.1%減、国際線は2019年比58.6%減。	8日	JR東日本東北本部は大型連休中の東北・山形新幹線の利用状況を発表した。2018年比で東北新幹線（那須塩原～郡山間）が89%、山形新幹線（福島～米沢間）が86%。
10日	県などはスタートアップ支援組織「テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城」を設立した。県内の53企業・団体が参加、支援を受ける企業は31社。	10日	格安航空会社（LCC）タイガーエア台湾は花巻-台湾線の運航を再開した。国際定期便の運航は3年2カ月ぶり、連休前と同じ水・土曜日の週2往復で10月28日まで。
13日	先進7カ国（G7）科学技術相会合が開幕した。会場は前回の財務相・中央銀行総裁会議（2016年）と同じ秋保温泉のホテル佐勘。共同声明の採択、「ナノテラス」視察など。	16日	東北電力は小売規制料金の値上げを補正申請した。引上げ幅を当初の1kw当り平均32.94%から同25.47%に圧縮、標準家庭で2,110円の値上げ。6月1日実施予定。
21日	第39回仙台・青葉まつり協賛会は2日間の人出を発表した。4年ぶりの通常開催となり、規模を縮小して開催した前年（43万3千人）の約2倍となる計87万人を集客。	24日	日銀仙台支店は5月の金融経済概況を発表した。東北の景気の基調判断は3カ月連続の据え置き、個別項目では個人消費を「緩やかに回復」と6カ月ぶりに上方修正。
25日	アルプスアルパインは大崎市古川に研究開発棟を新設した。地上4階建てで延べ床面積約2万3,700㎡、総工費は約100億円。開発人員など全社の半数に当たる1,500人を集約。		山形県内の酒蔵は全国新酒鑑評会の金賞受賞銘柄数（20銘柄）で9年ぶり3度目の日本一となった。昨年まで9年連続日本一だった福島県は金賞受賞が14銘柄で5位。
国 内		海 外	
12日	日銀は企業物価指数（4月速報値）を公表した。輸入物価指数は円ベースでは前年比▲2.9%、契約通貨ベースでは同▲6.5%となり、ともに2年2カ月ぶりの下落。	1日	米連邦預金保険公社は米地銀ファーストリパブリック・バンクが経営破綻し、公的管理下に置いたと発表した。2022年12月末の総資産は2,291億ドルで全米14位。
17日	内閣府は1～3月の国内総生産（1次速報値）を公表した。実質成長率は前期比1.6%増（年率換算）で3期ぶりのプラス。個人消費（同2.4%）、設備投資（同3.8%）などが寄与。	3日	米政府連邦準備理事会（FRB）は政策金利（FF金利）を0.25%引上げ、5.0～5.25%とした。10会合連続の利上げで、政策金利は2007年8月以来、16年ぶりの高水準。
25日	内閣府は5月の月例経済報告をまとめた。国内の景気判断を「緩やかに回復」として10カ月ぶりに引上げ、個別項目では個人消費、生産、輸出を上方修正。	25日	ドイツ連邦統計局は1～3月期の国内総生産の改定値を公表した。実質成長率は前期比0.3%減に下方改定、2期連続のマイナス成長（テクニカルリセッション）に転落。
26日	厚生労働省は2023年3月大学卒業者の就職状況（4月1日現在）を発表した。大学生（就職希望率：75.1%）の就職率は97.3%と前年同期比1.5ポイント上昇。	27日	米大統領と米連邦議会下院議長は米政府債務の法定上限の引上げで合意した。2025年まで2年間の時限措置で現行の上限（31.4兆ドル）を上回る債務残高を承認。

資料：日本経済新聞、河北新報ほか

77R&C

編集 後記

～日米間の時差ボケ・値差ボケ～

先日、米ロスより帰国した友人から軽い朝食でも30ドル程度が飛ぶかの国の狂乱物価の惨状を教えられ、「日本の安さはクレイジーだ」という言葉を前に、筆者はなじみの立ち食いソバ屋が30円の再値上げをした嘆きをそっと引っ込めました。向こうでは俗に「マックジョブ」と言われる仕事でも値上げ・賃上げを長年凍結してきた日本をあざ笑う賃金水準にあるものの、生活は苦しいようです。物価・賃金に関する限り日米双方ともクレイジー、両国間を往来する友人が「時差ボケ」と「値差ボケ」でネを上げないようにするのが友人の努めでしょうか。

(田口 庸友)